



日本カトリック司教団「信仰年」メッセージ

信仰の恵みを見つめ直す旅に招かれて

キリストにおける兄弟姉妹の皆さん

教皇ベネディクト十六世の自発教令『信仰の門』の呼びかけに...

現代の日本の社会には、少子高齢化、経済の低迷、家族関係や人間関係の問題...

わたしたち自身が生きている信仰の喜びを生きているか、信仰から来る希望と愛を...

に、自らの言葉と行いで信仰をあかすように招かれています。

わたしたち自身が生きている信仰の喜びを生きているか、信仰から来る希望と愛を...

わたしたち自身が生きている信仰の喜びを生きているか、信仰から来る希望と愛を...

わたしたち自身が生きている信仰の喜びを生きているか、信仰から来る希望と愛を...

わたしたち自身が生きている信仰の喜びを生きているか、信仰から来る希望と愛を...



宮原良治司教認可 発行所 福岡司教区本部 福岡市中央区浄水通6-28

11月の意向 教皇様の意向のために祈りましょう (一般) 福音を伝える聖職者 (宣教) 旅する教会 (日本の教会) 日本における福音宣教の推進

福岡教区被災者支援室だより 東日本大震災復興支援ボランティア募集 長崎教会管区大槌ベースキャンプ



子ども達の運動場に、土入れ、ならしのボランティア

福岡教区被災者支援室への連絡と寄付

連絡先: 福岡教区災害支援室 担当: 松井忠之神父 Mail: cdf-curia01@mbe.nifty.com



福岡教区司祭の黙想会が、10月15日から19日まで30人

まに受け止めることだ」と語った。司祭が参加して福岡黙想の家にて行われた。

福岡教区司祭の黙想会 自らの信仰を見つめて 司祭が参加して福岡黙想の家にて行われた。

「道であり真理であり命である(ヨハネ14:6)主イエスは「信仰の創始者・完成者」へ...

70年代のときに、大きな社会変化の中で、教皇パウロ6世は偉大な勇気を示しながら『福音宣教(回勸)』を通して、教会の使命、つまり福音宣教の役割と使命、正義と平和と社会の進歩について...

次に、竹森勇神父(水巻教会)は、自分にとって信仰の歩みは理屈ではなく、自分のからだで感じて表現することであり、幼少期に受けた信仰教育が今の司祭生活のベースにあると語った。

「なげ、司祭は独身なのか、結婚しないのか、男性としてどのように性をコントロールするのか」など多くの質問に真摯に答えてきた。

「わたしの望みではなく、イエスの望み」を追求していくことが大切だと述べた。

少子高齢化の問題だけではなく、親から子への信仰伝達が出来なくなっていること、また家族や社会の変化に教会が対応できていないことが問題ではないかと指摘した。

人となり、人々に神の愛を証したように、司祭の独身制は神の招きに愛をもって応えていくことだと述べた。

「わたしの望みではなく、イエスの望み」を追求していくことが大切だと述べた。

「わたしの望みではなく、イエスの望み」を追求していくことが大切だと述べた。

「わたしの望みではなく、イエスの望み」を追求していくことが大切だと述べた。

夏に岩手県花巻の宮沢賢治資料館や、童話館を訪れる機会がありました。彼の童話には、森羅万象、自然界のあらゆる動植物、昆虫などが登場します。

夏に岩手県花巻の宮沢賢治資料館や、童話館を訪れる機会がありました。彼の童話には、森羅万象、自然界のあらゆる動植物、昆虫などが登場します。

夏に岩手県花巻の宮沢賢治資料館や、童話館を訪れる機会がありました。彼の童話には、森羅万象、自然界のあらゆる動植物、昆虫などが登場します。

福岡教区信徒協が研修会



『教会の明日を担って』。9月22日(土)教区信徒協は、初めて具体的な社会問題について分かち合った。今回の研修会を一言で表すと「祈りが行動に、行動が祈りへと導く」ことを学んだと言えそうである。

会には本当に良いものとなった。いろいろの発言が信仰深いのも感心させられた。

・原発の司教団メッセージには衝撃的だった。分かち合いは同じ目線(信仰)で話が進み参考になった。

・司教の分かりやすい話は心に残った。

・正しい事を伝えようとするところでも生きにくい社会。し

寄せられた感想を少し紹介したい。

・本日に今の日本の政治に怒りを感じる。原発が良いと言って国民をだました代償が今回の事故につながった。一人ひとりが立ち上がる大きな時期にきたのではないか。

・研修会での出会

「信仰年」を旅するために 現実をみつめることから

山元 眞神父

かつては「10年1昔」といわれていたが、最近では「5年1昔」といってもいいような気がする。世相の変わり様はかつてないほど速い。

福岡教区の教勢から、この10年を振り返ってみよう。そして、おそらく過去10年の動きは、これからの5年に凝縮されるかもしれない。

毎年報告される「教勢」に信憑性があることを前提に動きを見てみる。

1990年頃から3万人を保っていた信徒総数は2010年に3万人を切った。この10年間で、約12000人減。

主日のミサ参加者数も1990年頃から1万人を保っていたが、この10年間で約3000人減った。

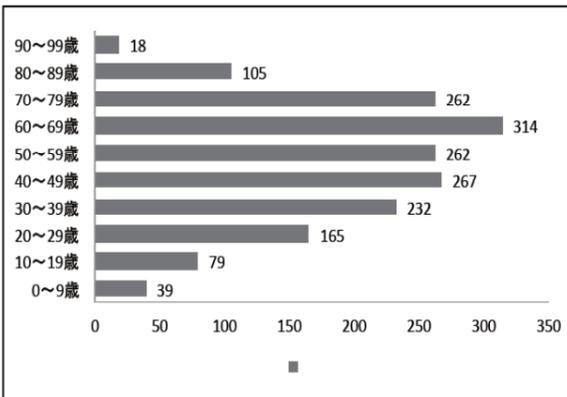
2010年には前年から3300人減り、2011年にはそれからさらに3300人ほど減って7790人。

信者総数の減少率とは比べ物にならないほど。

長い間35%と言われていた主日のミサ参加率は今や約26%にまで減少している。

小倉教会の現状を見る。ほとんど毎日のように名簿を整理し、3年ほどかかってようやく現実に近いデータを得ることができた。9月末現在で在籍信徒総数は1743人。居所不明の678人は含まれていない。

年代別にグラフを作ってみて驚いた。20歳代から下を見ると10年ごとに半減している。60歳代が一番多いのはこの小教区にも共通している。



このままでは、これから「数」は減っていく。しかし、悲観するのではなく、「新しい福音宣教」の時代になると思うし、そうしなければならぬと思う。

「親から子へ」という信仰

かいろいろな社会問題から目を背けず自分の問題として具体的に動いていきたい。

・原発のいまずる廃止のために、祈りと行動へのあゆみを。このような感想が多く寄せられた今回の研修会だった。

確かにこれまでの、教会内問題に目を向けてきた内容とは大きく違うテーマを設定したが、短期間の案内にもかかわらず、170人以上が参加したことは、関心の高さを物語っていたと思う。

講師の宮原良治司教は、挨拶の中でテーマが「信仰年への導入として時宜に叶ったもの」と語った。そして、司教団メッセージが出された背景、福島原発事故から見えてきた課題、メッセージの内容の3点について整然としかも大変分かりやすく説明した。

そのことが16グループの分

ことかもしれない。そして主日のミサ参加者も8割は60歳代以上ではないだろうか。

伝達は崩れかけている。少子高齢の時代ならば、その時代の福音宣教の仕方があるだろう。それを模索する時が来ている。何年も前からこのような状況は予想されていた。この現実は何を意味しているのだろうか。この現実から目を背けてはならない。

反省しつつも、一刻も早く動き出さなければならぬ。過去の栄光を見つめて夢をみている時ではない。しっかりと現実を見つめなければ、いつまでも何をしたらいいかわからないだろう。

ちなみに当小教区ではこのひと月の間に5人の方が召された。

小倉教会主任司教

7回目・川上神父のタイ学習ツアー



川上惣一神父(光丘教会)率いるタイ学習ツアーは今年で7回目を数える。今年は8月2日から9日の日程で、小中、高校生合わせて6人が参加して行われた。

毎年、参加者は日本人が忘れてしまったもの、あるいは忘れかけているものに出会い、また、タイの人々との出会い、交流を深めながら、多くの新しい発見をしている。

以下、参加者の感想文から抜粋して掲載する。

準備をすすめる。また、そこから見えてきた学びと課題をそれぞれの教会や信徒協で話し合っ頂きたい、と担当者から今後の予定と主催者の願いが述べられた。

(高1・二日市教会) 原田 かなえ

◆今年もタイ学習ツアーに参加できて、自分を見つめ直すことができました。バンマイという村の子どもセンターで、現地の子どもたちと交流しました。

その中に、家庭の事情があったり、HIVで親を亡くしたり、また感染している子がいまいました。

そのような貧しい環境や、辛い状況でも頑張っている姿、その笑顔はステキでした。また、将来の夢ややりたい職業など、自分の未来をちゃんと考えていました。

私には、一生懸命働いて育ててくれる両親がいて、学校にも通わせてもらい、勉強できる環境があります。そのことを当たり前だと思っている自分がいて、驚愕やちょっとしたことで文句を言ってしまう。また、親にも感謝せず、すぐ口をえしてしまっています。そして私の一番大切なところは、このように反省したことをすぐに忘れ、感謝の気持ちを忘れてしまうことだと思えます。自分は恵まれた環境にいるということを忘れず

最後に山岳民族の人たちについて。

カレン族の人々は、自分たちの文化と伝統を壊さないように、自分たちでまきりを作っていた。

また、山岳民族の人たちは「なまけ者」(木の下で上を向いて口をあけ、口の中に落ちてくるのを何もせず待っている人)をスローガンにしていた。そして「なまけ者」になっても生きていけるような、自然と共存できる環境作りを目指していた。

日本は自然が破壊されているから、「なまけ者」になっても生きていける環境作りを見習って、近くの自然から良

(高2・光丘教会) 相良 日向子

◆最後に山岳民族の人たちについて。

カレン族の人々は、自分たちの文化と伝統を壊さないように、自分たちでまきりを作っていた。

また、山岳民族の人たちは「なまけ者」(木の下で上を向いて口をあけ、口の中に落ちてくるのを何もせず待っている人)をスローガンにしていた。そして「なまけ者」になっても生きていけるような、自然と共存できる環境作りを目指していた。

日本は自然が破壊されているから、「なまけ者」になっても生きていける環境作りを見習って、近くの自然から良

(高3・光丘教会) 内野 創喜

マリア・ベルナデッタ 打矢好子 修道女 帰天

10月9日3時28分、帰天されました。1917年12月29日生れ。東京出身。享年94歳。福岡教区(新田原・伊万里)でのトランプスチヌ修道院創立者の一人。長く院長・副院長を務めた。典礼、オルガン伴奏など多方面にわたり伊万里の修道院の基礎造りに献身的にかかわられた。

幼キイエス会 (ニコラ・パレ) 修道院

住所 〓〒810-0028 福岡市中央区浄水通6-7 電話 092-521-5114 092-526-9100 院長 〓 Sr.佐無田 郁子

準備をすすめる。また、そこから見えてきた学びと課題をそれぞれの教会や信徒協で話し合っ頂きたい、と担当者から今後の予定と主催者の願いが述べられた。

(高1・二日市教会) 原田 かなえ

◆今年もタイ学習ツアーに参加できて、自分を見つめ直すことができました。バンマイという村の子どもセンターで、現地の子どもたちと交流しました。

その中に、家庭の事情があったり、HIVで親を亡くしたり、また感染している子がいまいました。

そのような貧しい環境や、辛い状況でも頑張っている姿、その笑顔はステキでした。また、将来の夢ややりたい職業など、自分の未来をちゃんと考えていました。

私には、一生懸命働いて育ててくれる両親がいて、学校にも通わせてもらい、勉強できる環境があります。そのことを当たり前だと思っている自分がいて、驚愕やちょっとしたことで文句を言ってしまう。また、親にも感謝せず、すぐ口をえしてしまっています。そして私の一番大切なところは、このように反省したことをすぐに忘れ、感謝の気持ちを忘れてしまうことだと思えます。自分は恵まれた環境にいるということを忘れず

最後に山岳民族の人たちについて。

カレン族の人々は、自分たちの文化と伝統を壊さないように、自分たちでまきりを作っていた。

また、山岳民族の人たちは「なまけ者」(木の下で上を向いて口をあけ、口の中に落ちてくるのを何もせず待っている人)をスローガンにしていた。そして「なまけ者」になっても生きていけるような、自然と共存できる環境作りを目指していた。

日本は自然が破壊されているから、「なまけ者」になっても生きていける環境作りを見習って、近くの自然から良

(高2・光丘教会) 相良 日向子

マリア・ベルナデッタ 打矢好子 修道女 帰天

10月9日3時28分、帰天されました。1917年12月29日生れ。東京出身。享年94歳。福岡教区(新田原・伊万里)でのトランプスチヌ修道院創立者の一人。長く院長・副院長を務めた。典礼、オルガン伴奏など多方面にわたり伊万里の修道院の基礎造りに献身的にかかわられた。

幼キイエス会 (ニコラ・パレ) 修道院

住所 〓〒810-0028 福岡市中央区浄水通6-7 電話 092-521-5114 092-526-9100 院長 〓 Sr.佐無田 郁子

◆最後に山岳民族の人たちについて。

カレン族の人々は、自分たちの文化と伝統を壊さないように、自分たちでまきりを作っていた。

また、山岳民族の人たちは「なまけ者」(木の下で上を向いて口をあけ、口の中に落ちてくるのを何もせず待っている人)をスローガンにしていた。そして「なまけ者」になっても生きていけるような、自然と共存できる環境作りを目指していた。

日本は自然が破壊されているから、「なまけ者」になっても生きていける環境作りを見習って、近くの自然から良

(高3・光丘教会) 内野 創喜

待降節一泊黙想会

自然の美しさに彩られた黙想の家で、祈りのひと時を過ごしませんか。

日程1: 12月8日(土)16時~9日(日)15時
 テーマ: 「わたしたちの祈り~待ち望むということ~」

日程2: 12月15日(土)16時~16日(日)15時
 テーマ: 「主の降誕にみる神の愛」

指導: 中村克徳神父(御受難修道会) 費用: 9,000円(一泊三食を含む)

カトリック御受難修道会・福岡黙想の家

811-4155 宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222 (9:30~16:30)・Fax 0940-32-3385
 Eメール fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp
 インターネット検索

ミサ用ワイン

ワイン デ ミサ VINO DE MISA

スイートタイプ(赤)(白)

ご用命 お問い合わせは 有限会社 大楠酒店 ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号 電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑 (SOU-EN)

カトリックのご葬儀 互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

TEL 092-526-5656
 〒810-0016 福岡市中央区平和3丁目1-5

典礼シリーズ ⑥

【質問】「カトリック教会で物や人を祝福するときに聖水が使われますが、これには『浄め』の意味、例えば『神道のように汚れを祓う』というような意味が含まれていますか。また、聖堂に入るとき、聖水をつけますがどんな意向をもってすべきか教えてください。また、聖堂を出る時にも聖水を付ける人がいますが、意味がありますか。」

【質問に答えて】「カトリック教会で物や人を祝福するときに聖水が使われますが、これには『浄め』の意味、例えば『神道のように汚れを祓う』というような意味が含まれていますか。また、聖堂に入るとき、聖水をつけますがどんな意向をもってすべきか教えてください。また、聖堂を出る時にも聖水を付ける人がいますが、意味がありますか。」

祝福された水のことを「聖水」と呼ばれています。聖水は、例えば土地や家の祝福、信心のために用いられるイエス様・マリア様・その他の聖人の方の像の祝福、また、結婚の指輪の祝福などの物に対して用いられる場合と、灌漑式が行われるときに人に振りかけられたり、また、病者の塗油の式のはじめに病者に注がれたりして、人に対して用いられる場合があります。

しかし、物に対して用いられる場合でも、その物自体ではなく、必ずその物を用いる人のことが想定され、その人のために教会が祈るという一貫性があります。ですから、

結果的には物に対する祝福も、人に対する祝福に含めて考えることができます。聖堂に出入りするときに信者が聖水を用いて十字架のしるしをする場合も、その人に対する祝福です。

「聖にして母なる教会は、そのほかに準秘跡を制定した。これは、秘跡にならって定められたしるしであって、これによっておもに霊的効果が表され、教会の祈りによってそれが与えられる。準秘跡は、人々に秘跡の主要な効果を受ける心構えを持たせ、またこれによって生活の種々の状況が聖化される」(60)。

この中で、秘跡と準秘跡が関連づけて説明されています。準秘跡とは、①教会が秘跡にならって制定したもので、②目に見えない恵みを表すことばとしてのしるしが用いられる場合、信者がこれらの物によりよく用いて、洗礼の恵みを生かすよう促します。

イエス・キリストによって制定された秘跡と、それにならって教会が定めた準秘跡では、霊的効果(恵み)が大きく異なりますが、準秘跡は、秘跡の主要な効果(秘跡的な恵み)を受ける心構えを準備させるもの、あるいは秘跡の恵みを受けた人が、生活の種々の状況の中で、その恵みによりよく生きるよう助ける(促す)ためのものと理解することが出来ます。

土地や家、イエス様・マリア様・その他の聖人の方の像などを、聖水を用いて祝福する場合、信者がこれらの物によりよく用いて、洗礼の恵みを生かすよう促します。

10月9日(火)、第十回「諸宗教者平和の祈り」が真命山で行われ、九宗教者・団体が、世界平和を願って熱心な祈りを捧げた。この集いは2年ごとに開かれ、今年20年目を迎える。同時にこの日は、真命山設立25周年を祝う日ともなった。



「諸宗教者平和の祈り」九宗教者・団体、真命山に集った。続いて園田師が比叡山での「世界宗教者平和を祈る集い」を、Sr.マリアがサラエボで行われた祈りの集いの報告、今こそ宗教を信じる者が積極的に協力して、平和実現のために働かなくてはならないと強調した。

祈りに先立ち、フランコ師はもうすっきり心の通じ合った宗教者たちに、「私たちがここに集まったのは、宗教者として平和実現の約束を果たし、互いに励まし合うためです。心を合わせて平和のために祈りましょう」と呼びかけ

その後、天理教、天台宗、曹洞宗、浄土真宗、立正佼成会、生命山シユバイツァー寺、百光信宏会、ルーテル教会、カトリック教会がそれぞれに祈りを捧げ、会場は祈りに包まれた。歌い、時にはすがるように切々と、時には宣言す

「互いに尊敬し合うことが対話の基礎です。その基礎の上に立って、私たちは対話の橋を築いてきました」とフランコ師は25年を振り返った。

10月16日から18日浜口末男司教(大分教区)、松浦悟郎司教(難民移住移動者委員会委員長)はじめ全国から70人程の司祭、修道者、信徒、大分在住の外国籍信徒が参加。福岡教区から2人の司祭、3人の信徒が参加しました。

10月20日(土)、福岡地区カトリック女性の会主催の黙想会が83人が参加して司教館で開催されました。

「いのちをつなぐ」福岡地区女性の会が研修

親から子へと繋がってゆく命に目を向けるいのちの大切さを考えてみたい、慈恵病院(蓮田太二理事長熊本)の田尻由貴子看護部長を迎え、「いのちをつなぐ」こののりのゆりかご(大分教区)のゆりかご5年を見えてきたもの」というテーマで講演をいただきました。

賛否両論の中、5年を迎えた「こののりのゆりかご」の歩みを紹介されながら、田尻さんたちの活動は、単に育てられない赤ちゃんを預けに来る人への対応だけが目的で

「いのちをつなぐ」福岡地区女性の会が研修

「いのちをつなぐ」福岡地区女性の会が研修

「いのちをつなぐ」福岡地区女性の会が研修

「いのちをつなぐ」福岡地区女性の会が研修

「いのちをつなぐ」福岡地区女性の会が研修

「いのちをつなぐ」福岡地区女性の会が研修

「いのちをつなぐ」福岡地区女性の会が研修

「いのちをつなぐ」福岡地区女性の会が研修

ネットワーく・共同代表、福岡教区水巻教会信徒)による『改定入管法』施行後の事例報告』講演がありました。

2日目は、『福者ベト口岐部神父出身地を訪ねる』と『移住労働者が働く造船所を訪ねる』の2コースに分かれての現地学習でした。

3日目の全体会では、大分教区の外国籍信徒、福岡教区の日本人信徒、CTIC(カトリック東京国際センター)、仙台教区外国人支援センターのギヤリー・ゲストウエオ神父の報告がありました。「被災地はまだまだ大変です。弱くされている人のことを忘れず、真ん中において歩んでください。」と話されました。

その後、浜口末男司教司式のミサがあり、最後に、松浦悟郎司教から研修会のまとめがありました。

「日本の教会とは、『日本人の教会』ではなく日本の中の教会です。メンバーに国は関係ありません。外国人と日本人が一緒に創っていくのです。皆使命を持って共に生きるのです。」というお話が心に響きました。

被災の後に起きた原発事故で、わたしの住む福島県の川俣町も放射能の被害を受けました。自然の豊かな山里。季節が巡れば以前と同じように花や虫たちは、それぞれの営みを繰り返します。わたしの生活のなかで撮っていた小さな命の姿を、故郷の恵みを多くの方々に見ていただきたいと、このささやかな本を編みました。(著者まえがきより) 女子パウロ会 発行

☆第二バチカン公会議に学ぶ 糸永真一 司教 著 税込価格 1050円



☆惑星(ほし)の祈り 原発事故の被災地に立つて 久野わか 著



総合建築業
・一般住宅(新築・改築工事)
・鉄骨工事
・RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

株式会社 森山工務店
ヨゼフ 森山 新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎(092) 811-7265

木との出会い 人との出会い 神との出会い

セント・ポール FUKUOKA

〒815-0855 福岡市早良区大谷2-7-7 大名町カトリック教会1F
平日/AM10時~PM5時40分
日・祝日/AM11時~PM4時(球団E定休日)
TEL 092-741-3688 FAX 092-741-3661
URL http://www.psl-inc.jp

なんでもお問い合わせください

ジャパン・スマイルか

代官事務所 マルゴウ・マリア 吉田由子
〒910-0044 福井県中央地区大谷町4丁目4番4号
TEL 092-761-0800
http://www.jpica-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション

自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。

春日市上白水 5-11-102 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

救いの秘儀を知り、追体験し、生き、伝える

2012年福岡地区聖書週間特別講座

年間テーマ：福音 ～イエスとの出会い『マルコ福音書を読む』
日時：11月11日(日) 14:00～16:00
講師：山下敦神父(大分教区)
場所：カトリック大名町教会1階講堂
主催：福岡地区信徒使徒職協議会 聖書典部会

2012年北九州地区聖書週間特別講座

年間テーマ：ともに学び、生活の場で伝えよう～マルコに導かれて～
日時：11月18日(日) 14:00～16:30
テーマ：生活の中でのマルコ
講師：森山信三神父(西新教会)
場所：カトリック小倉教会
主催：北九州地区信徒協 聖書部会

聖書に集う会

日時：11月5日(月) 18時30分～20時
場所：サンパウロ福岡宣教センター3階会議室
講師：鈴木信一神父(聖パウロ会司祭)

震災のための祈りのリレー

日時：11月11日(日) 9:00ミサ～19:00夕の祈り(テゼの祈り)
場所：カトリック加世田教会(鹿児島教区)
問合せ先：fr05abe19ko@yahoo.co.jp / Br 阿部光一

第65回福岡市民クリスマス

日時：2012年12月10日(月) 18時開場/18時半開演
場所：福岡市民会館大ホール(福岡市中央区天神5)
入場無料/手話通訳つき
トーク&コンサート：沢知恵さん
主催：福岡市民クリスマス実行委員会
*キリスト教各教派を越えて企画しています。キリストの誕生をみんなで祝い、平和な世界を求め祈りの日にしましょう。ご家族でご来場ください。

子どもの問題を考える会 連続講演会

第1回 宣教の現場から
日時：2012年11月10日(土) 13:00～16:30
講師：メディナ・ヨセフ神父(イエズス会司祭)
第2回 差別をなくすということ
日時：2013年1月27日(日) 14:00～17:00
講師：小西清則氏(福岡県同和教育研究協議会会長)
開場：カトリック大名町教会1階講堂
参加費：1000円
*全7回を企画しています。どなたでも参加できます。

ザビエル合唱団員募集

福岡黙想の家に再生建築中の旧ザビエル聖堂
完成をともに祝うために練習中
献堂式 2013年4月7日
練習日時：2013年1月19日(土) 13:00～16:30
指揮者：新垣壬敏氏/場所：カトリック大名町教会1階
参加費：2000円/問合せ：0940・33・5423 橋本

福岡地区エキュメニカル推進の集い 第14回

日時：2012年11月25日(日) 16時～18時
場所：カテドラル大名町教会、1階信徒会館
対象：福岡地区の信徒の方(興味のある方)
第一部：開成(祈りと種々の報告)
第二部：養成(教えと分かち合い)
講師：G. ミシェル神父(箱崎教会)
第三部：活動協議

福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

あちこちから金木犀の香りがして、心地よい気分になります。最近の子どもたちは「トイレットの香りがする」と言ったり、笑えないような気がしません。人工的な香りや音に囲まれた現代人は、本物の感覚が薄くなっていくのかもしれない。信仰も借り物ではない。自ら培った本物の信仰を求めなければならぬと思いませんか。黙想会での兄弟司祭たちの話しを聴きながら、閉塞感や時には空虚感、孤独感等と闘いながら皆現実に生きていく姿が印象的でした。

編集後記

熊本地区召命を共に祈る会
(日時) 11月15日(木) 11時(場所) 健康教会(問合せ先) 健康教会 096・368・2825 青木悟神父

案内板 会合と催し

11月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 11月

2日(金)～4日(日) 防府教会黙想会 (空室:20室)
5日(月)～8日(木) (空室:30室)
9日(金)～10日(土) 北九州レジオマリエ黙想会 (空室:20室)
10日(土)～11日(日) 山口島根地区信者養成研修会 (満室)
12日(月)～16日(金) (空室:30室)
17日(土) 福岡チエナクルム
17日(土)～18日(日) 聖マリア在俗会黙想会 (空室:15室)
21日(水)～22日(木) ウルスラ会黙想会 (空室:10室)
22日(木)～25日(日) 日本心身医学協会セミナー (空室:15室)
【12月】
1日(土)～7日(金) (空室:30室)
*利用予定によっては充分余裕がある場合があります。
*宗像市名残1056 ☎0940・32・3222 FAX0940・32・3385
Email: fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp
インターネットで検索 福岡黙想の家 検索

真命山諸宗教対話・霊性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ：御聖体、愛の秘蹟
・日時：11月8日(木) 10時～14時半
・内容：御聖体礼拝
指導者：フランコ・ソットコルノラ神父(真命山院長)
ダニエレ・サルツィ・サルトリ神父
Sr.マリア・デ・ジョウルジ
問合せ先：真命山諸宗教対話・霊性交流センター
・次回：12月13日(木) 終末の宴
☎0968・85・3100 瀬0968・85・3186・玉名郡和水町晴浦1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：11月17日、12月1日、12月15日 10時～12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂

大名町教会 125周年記念ミサ

日時：11月18日(日) 15時
司式：宮原良治司教と
大名町教会出身
歴代主任・助任
司祭他

虹の会
(日時) 11月10日(土) 13時半
(場所) カトリック大名町教会3階(対象) 子どもを亡くした親の会です。(会費) 600円(連絡先) ☎0900・1162・6395 柴田
心の健康セミナー
(日時) 11月11日(日) 14時から(場所) 福岡黙想の家ログハウス(テーマ) 死という危機とそれに対する私たちの霊

熊本

熊本地区召命を共に祈る会
(日時) 11月15日(木) 11時(場所) 健康教会(問合せ先) 健康教会 096・368・2825 青木悟神父

佐賀祈りの集い
(日時) 11月10日(土) 10時。毎月第1土曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

4日(日) 年間第31主日/水巻教会堅信式/北九州納骨堂ミサ
糸島教会バザー/古賀教会バザー
6日(火) 司祭評議会
8日(木) 常任司教委員会
+M. マッコネル(2005年手取教会)
9日(金) ラテラン教会の献堂
福岡教区カトリック学校理事長・校長・学長の集い
伊東マンショ没後40周年追悼ミサ(宮崎)
年間第32主日/和田墓地ミサ
鳥栖教会堅信式/嬉野・不動山殉教祈念祭
13日(火) 日韓司教交流会(テグ教区～15日)
16日(金) +アントニオ浦口均(2007年老司教会)
18日(日) 年間第32主日/聖書週間(～25日)
カトリック大名町教会125周年ミサ(15時から)
長崎教会管区・司教司祭代表者会議(福岡)
聖マリアの奉獻
22日(木) 聖セシリアおとめ殉教者
23日(金) 福岡教区の日 勤労感謝の日
24日(土) 横浜教区司教座聖堂献堂125周年ミサ聖祭
25日(日) 王であるキリスト
行橋教会堅信式
26日(月) 教区司祭の集い(～27日)
+L. マグリン(2008年聖マリア病院)
27日(火) +M. ハイメ(2003年トラビスチヌ)
28日(水) 教区幼児教育連盟会合
30日(金) 聖アンデレ使徒
+アンジェロ春山勝美(2007年高宮教会)
12月
2日(日) 待降節第1主日(C年)/宣教地司祭育成の日(献金)
新田原教会堅信式
聖フランシスコ・ザビエル司祭
3日(月) ■ゴチックは司教日程

福岡

◆聖霊による刷新福岡祈りの集い(日時) 毎週月曜11時(場所) 大名町教会1階(内容) 賛美と感謝の祈り・聖書のわかちあい(問合せ先) ☎092・521・2503 蓮尾
◆こひつし会
(日時) 11月10日(土) 11時から(場所) 福岡黙想の家ログハウス(内容) たのしいクッキング教室(参加費) 自由献金(問合せ先) ☎0940・33・2731 吉永

北九州

◆在世フランススコ会集會
(日時) 11月18日(日) 14時から16時(場所) 高宮フランススコ会修道院在会集會所(指導) エドウィン神父(高宮教会主任)(問合せ先) ☎092・843・5831 岩崎
◆カレル在会集會
(日時) 11月19日(月) 10時半(場所) 福岡女子カレル会修道院聖堂・テレサの家(内容) ミサ・講話・大聖テレジア著「靈魂の城」(指導) カレル会司祭(問合せ先) ☎097・551・1360(中林)

熊本

◆熊本地区召命を共に祈る会
(日時) 11月15日(木) 11時(場所) 健康教会(問合せ先) 健康教会 096・368・2825 青木悟神父

北九州

◆北九州召命を共に祈る会
(日時) 11月8日(木) 14時(場所) カトリック直方教会(内容) ミサとミーティング(指導) 谷口尚志神父(新田原教会)(連絡先) ☎0949・24・9905 藤井
◆小倉祈りの集い
(日時) 11月30日(金) 13時半(場所) カトリック小倉教会信徒会館2階(指導) ガブリエル神父(御受難会)(内容) 『みことばを味わう』 賛美と感謝の祈り(連絡) ☎0900・3985・5209 松田

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具
〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
総合産科医療センター
がん診療連携拠点病院
地域災害拠点病院
救急救急センター
〒830 8543
福岡県久留米市津福本町422
TEL0942 35 3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

2013年
カトリック教区カレンダー
昨年大好評だった東日本大震災復興支援チャリティーカレンダー「北に祈る」は、今年は福岡教区・仙台教区・さいたま教区・横浜教区・新潟教区の5都府県を制作いたしました。1冊購入していただくと1,000円が被災地支援活動のために寄付されます。
発行企画・実務 株式会社 長崎ツーリスト公社
☎095-894-9755 FAX095-894-9760
長崎市青葉町12-12-304 全国旅行業協会会員
長崎県知事登録第2-144号 総合旅行業取扱管理者 吉村徳博

心の欲しい人は
さいわい。
天の国は
その人たちのもの
サンパウロ福岡宣教センター
☎090 721 2002 or 725 0900